

教 育

い つの時代にあっても町民一人ひとりが自ら学ぶ意欲を高め、社会の変化や課題に柔軟に対応できる能力を培い、充実した人生を送ることができ

るよう、学校教育をはじめ文化・スポーツに至る生涯学習社会の構築を目指した教育行政を推進してまいります。

① 学校栄養教諭による食育教育の推進と、児童生徒の生命や安全確保のためAED（自動体外式除細道器）を設置し健康教育と安全対策に努める。

② 学校再編計画につきましても、父や地域の皆様のご理解を頂いた中で、計画に沿った統合を進めさせて頂いており、児童・生徒が夢と希望に向かって、心豊かにたくましく前進できるよう通学や教育環境の充実を図る。

③ 町関係部局や各関係機関との連携を図り、子育てに関する情報提供や子育てサポーターの養成など子育て事業の展開を図るとともに、放課後や週末に子ども達が安心して安全に活動を行える放課後子ども教室の設置など家庭教育支援を進める。

主な投資的事業	予算額
小平共同調理場補修事業	5,422千円
給食運搬車購入事業	3,500千円
小平小学校屋内体育館補修事業	12,277千円
旧本郷小学校プール解体事業	4,473千円
旧花田家番屋改修事業	5,300千円

主な事業内容
【学校教育の推進】 新教育基本法・小平町教育目標を基本とした学校教育の推進と教育環境の充実
【健康教育と安全対策】 学校栄養教諭による食育教育の推進と安全阻害要因から生命や安全性の確保を図るための意識高揚とAEDの設置
【特別支援教育】 複合型障害に対応するため、特殊学級を特別支援学級へと改編した障害教育の推進を図るための設立した「特別支援教育協議会」を核として小平高等養護学校と連携した特別支援教育の進展を図る
【社会教育の推進】 文化交流センターを拠点とし町部局と連携した子育て支援事業の事業展開を進める
【文化の振興】 番屋や郷土資料館など貴重な文化遺産の適切な保存と指定管理者と連携協力した利活用に努める
【スポーツの振興】 地域に根ざした各種体育事業の推進と体育施設の充実に努めスポーツの推進を図る

おわりに

以上、平成20年度の町政執行に臨む一端を述べさせて頂きましたが、

北海道の地方自治は地方分権に始まる道州制・市町村合併・支庁制度改革や財政構造の硬直化による財政破綻など大きな転換期の渦中にあり、多くの課題に対処していくためには、町民の皆様方と行政が一丸となって「協働の町づくり」を基本とした町政を推進していかねばならないと考えているところであります。

議員各位並びに町民各位の尚一層のご協力をお願い申しあげ、私の町政執行にあたる基本方針とさせていただきます。

